

小豆島中央病院だより



この愛しさを守るため
当院 産婦人科病棟

- 新ユニフォームの紹介②
- 栄養科だより
- 感染対策研修会
- 新入職医師紹介
- 小豆島中央病院企業団職員募集



新ユニフォームの紹介②



薬剤師



薬の専門家として最適な薬物治療に貢献しています。

薬剤部補助員



病棟や外来等に配置している薬の在庫管理、期限管理を行っています。

臨床工学技士・人工透析科



生命維持管理装置の操作や医療機器の保守・点検を行っています。

臨床検査技師



皆さんの健康維持のため‘全集中’で検査させていただきます。検査でご不明な点は、いつでもお声かけください。

理学療法士・作業療法士

言語聴覚士



リハビリを通し、その人らしい生活が送れるようにお手伝いさせていただきます。



赤ちゃんから高齢者まで、コミュニケーションや食事などの相談と練習をしています。

診療放射線技師



動きやすい新たなユニフォームで心機一転。今後も画像から「地域の皆さんに寄り添う医療」を提供していきます。

調理師・管理栄養士



- ① 安心安全な給食の提供を心がけています。
- ② 食事・栄養に関して何でもご相談ください。

病児・病後児保育室



「オーブキッズ」は子育て中のお父さんお母さんの強い味方です。

事務部



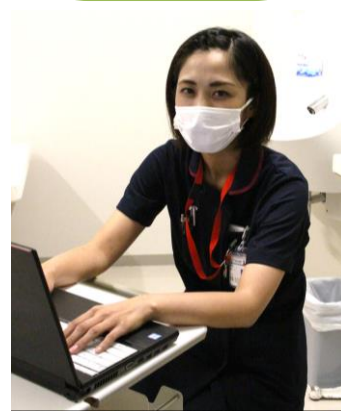
事務職のプロフェッショナルとして日々努め、病院機能向上に努めています。

管理課



皆さんに快適な環境を提供するため、建物の維持・管理に努めています。

診療支援室



カルテの代行入力や、書類作成等、医師事務作業の支援を行っています。

新ユニフォームの紹介②です。今回は看護部以外の部署を紹介します。なかなか皆さんに会えない部署もありますが、それぞれの持ち場で一人ひとりに出来ることを考え、小豆島の医療をつなげていきたいと思ひます。



栄養科だより



秋らしい季節になってきました。

秋になると「スポーツの秋」「読書の秋」のほか、「食欲の秋」とも言われ、食欲が増してきますよね。

今回はこの時期に旬を迎える食材の一部をご紹介します。

秋刀魚（さんま）



さんまはDHAやEPAが豊富で中性脂肪やコレステロールを減少させるほか、血液の流れをスムーズにする働きがあります。

りんご



りんごはカリウムが豊富でむくみや血圧に影響するナトリウム（塩分）を排出してくれます。また、ビタミンCも含まれており、鉄分の吸収を高めてくれます。

エリンギ



エリンギなどのキノコ類は食物繊維やビタミンDが豊富です。ビタミンDはカルシウムの吸収を助ける役目があり、丈夫な骨をつくる材料となります。

かぼちゃ



かぼちゃには食物繊維、ビタミン類が含まれており、ウイルスや細菌の侵入を防いでくれたり、細菌から守ってくれたりする機能があり、免疫力アップにつながります。

あずき



あずきはビタミンB群が豊富に含まれており、体内の疲労物質を減らして疲労回復を早め、疲れにくい体に導いてくれます。

れんこん



れんこんはビタミンCが非常に豊富で疲労回復、かぜの予防、がん予防、老化防止に効果があります。

感染対策研修会（はまひるがお）

7月12日(月)、16日(金)、感染対策室室長 唐橋看護師がはまひるがおグループの職員に感染対策研修を行いました。当日は「身につけよう！感染の基礎と施設における感染対策」と題し感染経路や症状などの基礎知識と「拡げない、持ち込まない、持ち出さない」の感染対策3原則の大切さを伝え、実際に防護服の着脱実習を行いました。

実習では、当院の山本助産師、谷看護師がサポートに加わり、二人一組で露出部分がないか、お互いチェックしながら正しい防護服の着脱手順を職員の皆さんと再確認しました。

今後も医療・介護の垣根を無くし、小豆島一体となった感染対策を推進していきます。



新入職医師紹介

つちや

とうい

土屋 冬威 先生

小児科



小豆島の子どものための健やかな成長の手助けができるよう日々精進していきます。



小豆島中央病院企業団職員募集

令和4年4月1日から小豆島中央病院企業団に勤務する職員の募集を行います。

募集人員および応募資格

- ① 看護師8名程度、准看護師3名程度、介護福祉士3名程度
免許取得者または採用日までに資格を取得する見込みの方
- ② 理学療法士1名程度
平成4年4月2日以降に生まれた方で、免許取得者または採用日までに資格を取得する見込みの方
- ③ 看護補助者3名程度
昭和57年4月2日以降に生まれた方で、高校を卒業した方または、令和4年3月31日までに卒業見込みの方

募集・応募用紙の提出期限

10月29日（金）

試験日

11月7日（日）

（郵送の場合は期限内必着）

詳しくは、ホームページ（<https://scha.jp/>）をご覧ください。

応募用紙の請求・提出場所

小豆島中央病院 人事・秘書課

☎75-1214

小豆島での新型コロナ対策医療について

「ななスパ」（テレビせとうち 平日夕方の情報番組）に出演しました。

離島唯一の総合病院としての役割、観光の島として新型コロナ対応の難しさについて訴え、重症者が発症した場合の対策や救急・急性期医療の継続性など、医療体制の課題を提唱しました。昨年のカスタ発生時の苦労と第5波に対する懸念を述べつつ、帰省時期の再考と現状での接触行動の注意等をお願いしました。



当院産婦人科病棟

ふれあいノート抜粋

（産婦人科病棟授乳室に置いている妊婦さんの自由記載ノート）

無事に赤ちゃんを産めたこと、本当に感謝しています。

・・・前は苦しすぎて記憶がとびとびでしたが、今回は陣痛を味わいました。長女の時はわけが分からないうちに産まれましたが、今回は赤ちゃんがどんどんでてこようとするのも、出てきた感覚もはっきり分かりました。赤ちゃんのパワーってすごい！！私が産むと言うよりは赤ちゃんが自分の力で産まれてくるという感じで感動しました。

林先生、助産師さん、看護師さんって本当にすごい仕事をされているんだなと尊敬します。

入院中もいつも気にかけて下さったり、優しいアドバイスもありがとうございました。

赤ちゃんが出てきた瞬間のことは一生忘れません。先生、助産師さんの表情、夫の号泣している姿、赤ちゃんが「ほぎゃー」と泣いている声、姿。

生というものをこんなに生々しく感じたのは初めてで、その後感動が込み上げてきて涙が止まりませんでした。

小豆島に引っ越してきて2年。里帰り出産も考えましたが、知り合いのいる病院で産むお産がこんなに温かく幸せだとは思いませんでした。

私も少しずつこの土地に根付くことが出来ているんだなあ嬉しくなりました。



今回は立ち合い、面会も出来ず不安でしたが、スタッフの皆さんが、入院～手術中、そして術後もあたたかくサポートして下さい、心折れることなく快適に入院生活を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。